EPSON

PM-G700

プリンタ補足説明書

◆ **プリンタの準備は CD-ROMの『プリンタ準備ガイド』を見ながら行うことをお勧めします。**

なんらかの理由により『プリンタ準備ガイド』が見られない場合には、本書の手順に従ってプリンタの準備を行ってください。
『プリンタ準備ガイド』の表示方法は、『はじめにお読みください！』に記載されています。

◆ **プリンタの詳しい使い方については、準備時にコンピュータにインストールされる『プリンタ操作ガイド』をご覧ください。**

『プリンタ操作ガイド』の表示方法は、『はじめにお読みください！』の裏面に記載されています。また『プリンタ準備ガイド』でもご案内しています。

本書中のマークについて

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。それぞれのマークには次のような意味があります。

注意	ポイント	こんなときは	☞
ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因となる可能性があります。	ご使用上、知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なことを記載しています。	操作を間違った場合や説明通りにならない場合などの、対処方法や補足事項を記載しています。	関連した内容の参照ページを示しています。

4044371-01
XXX

製品をお使いいただく前に

- 本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書をお読みください。
- 本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。
- 本書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。		**この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。**
	この記号は、分解禁止を示しています。		**この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。**
	この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。		

設置上のご注意

本プリンタは、次のような場所に設置してください。

水平で安定した場所	風通しの良い場所	次の気温と湿度の場所
水　平		10～35℃ 20～80%

- テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。
  本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。
- 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。
- 「プリンタ底面より小さな台」の上には設置しないでください。
  プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ずプリンタ本体より広い平らな面の上に、プリンタ底面の脚が確実に載るように設置してください。

アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所には設置しないでください。
火災・感電の原因となります。

⚠注意

不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いたところなど）や小さなお子さまの手の届くところ、他の機械の振動が伝わるところなどには設置、保管しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。

湿気やホコリの多い場所、水に濡れやすい場所、直射日光のあたる場所、温度や湿度の変化が激しい場所、冷暖房器具に近い場所に設置しないでください。
感電・火災・本製品の動作不良や故障につながるおそれがあります。

本製品の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。
次のような場所には設置しないでください。

- 押し入れや本箱などの風通しが悪くて狭い場所
- じゅうたんや布団の上

壁際に設置する場合は、壁から10cm以上のすき間をあけてください。
また、毛布やテーブルクロスのような布をかけないでください。

電源に関するご注意

⚠警告

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

添付されている電源コード以外の電源コードは使用しないでください。また、添付されている電源コードを、他の機器に使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

表示されている電源（AC100V）以外は使用しないでください。
また、電源コードのたこ足配線はしないでください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。家庭用コンセント（AC100V）から電源を直接取ってください。

破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
電源コードが破損したら、販売店または修理窓口にご相談ください。
電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードに重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

電源プラグの取り扱いには注意してください。
取り扱いを誤ると火災の原因となります。

- 電源はホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む

⚠注意	**電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。** 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。	
	長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。	
	各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。	

使用上のご注意

	煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。	
	異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。	
	通風口などの開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。	
	（取扱説明書で指示されている以外の）分解や改造はしないでください。 けがや感電・火災の原因となります。	
⚠注意	**本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。** 特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがをするおそれがあります。	
	本製品を保管/輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さにしないでください。 インクが漏れるおそれがあります。	
	本製品を移動する場合は、安全のために電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。	

インクカートリッジに関するご注意

<table>
<tr><td rowspan="4">⚠注意</td><td>インクカートリッジを交換するときは、インクが目に入ったり皮膚に付着しないように注意してください。
目に入った場合はすぐに水で洗い流し、皮膚に付着した場合はすぐに水や石けんで洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。</td><td></td></tr>
<tr><td>インクカートリッジを分解しないでください。</td><td></td></tr>
<tr><td>インクカートリッジは強く振らないでください。
強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。</td><td></td></tr>
<tr><td>インクカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。またインクは飲まないでください。</td><td></td></tr>
</table>

各部の名称と働き

用紙サポート

印刷するための用紙を支えます。

オートシートフィーダ

セットした用紙を自動的に給紙します。

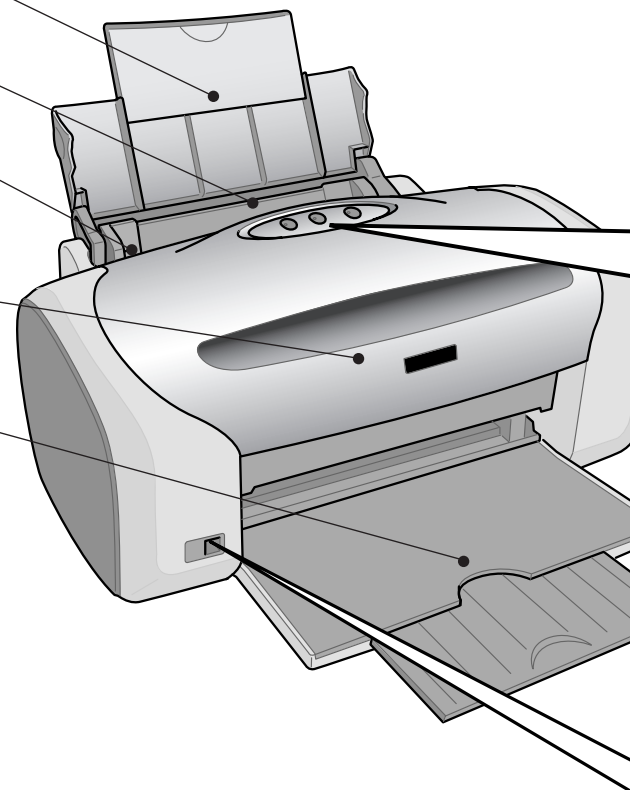
エッジガイド

用紙が斜めに挿入されないように、用紙の側面に合わせます。

プリンタカバー

インクカートリッジの取り付けや交換時に開きます。

排紙トレイ

印刷された用紙を保持します。

交換の必要なインクカートリッジ確認位置

インクランプが点灯/点滅しているときに インク ボタンを押すと、プリントヘッドがこの位置に移動します。
マークの前にあるインクカートリッジが、交換の必要なカートリッジです。

インクカートリッジ交換位置

インクカートリッジの取り付け時や交換時に、プリントヘッドがこの位置に移動します。

プリントヘッド（ノズル）

インクを用紙に吐出する部分です。ノズルは外部からは見えません。

CD/DVD ガイド

CD/DVD トレイをセットします。
手前に開くと、CD/DVD 印刷モードに切り替わります。

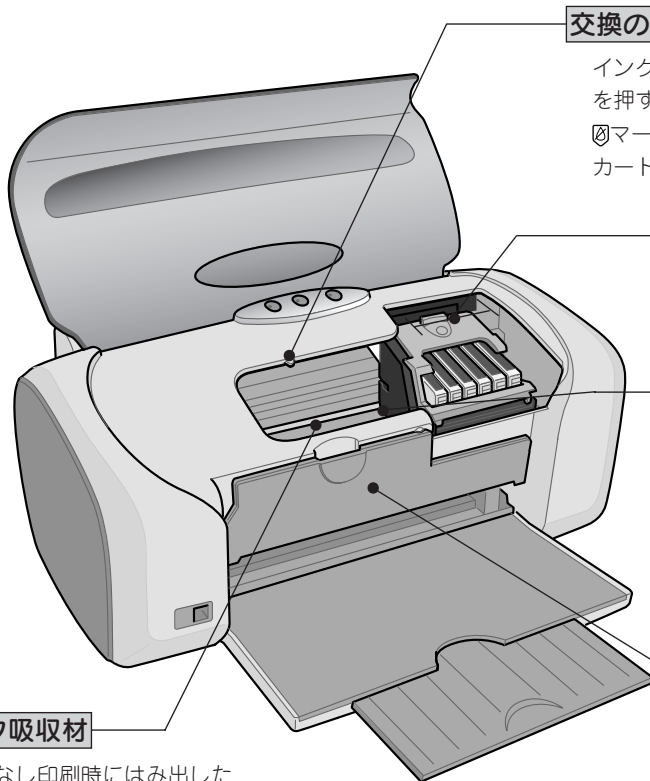
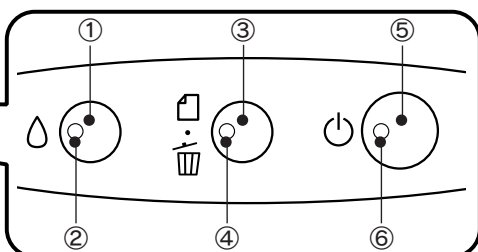
インク吸収材

フチなし印刷時にはみ出したインクを吸収します。

①インクボタン

- インクカートリッジを交換する際に、プリントヘッドを移動させます。
- 3秒間押したままにすると､プリントヘッドのクリーニングを行います。

②インクランプ

インクがなくなったときや残り少なくなったときなど、インクに関するエラーが発生した場合にランプが点灯 / 点滅します。

※ランプ表示についての詳細は以下をご覧ください。
本書12ページ「ランプの表示について」

③用紙ボタン

- 用紙を給紙、または排紙します。通常の印刷時は自動的に給紙 / 排紙されますので、このボタンを押す必要はありません。
- 電源投入時に 用紙 ボタンを押しながら 電源 ボタンを押すと、プリンタの動作確認（ノズルチェックパターン印刷）を行います。
- 印刷中に押すと、印刷を中止して用紙を排紙します。

④用紙ランプ

印刷実行時に用紙がセットされていなかったり、紙詰まりなどの用紙に関するエラーが発生した場合にランプが点灯 / 点滅します。

⑤電源ボタン

プリンタの電源をオン / オフします。

- **電源オン**

電源 ボタンを押すと､電源がオンになり電源ランプが緑色に点灯します。

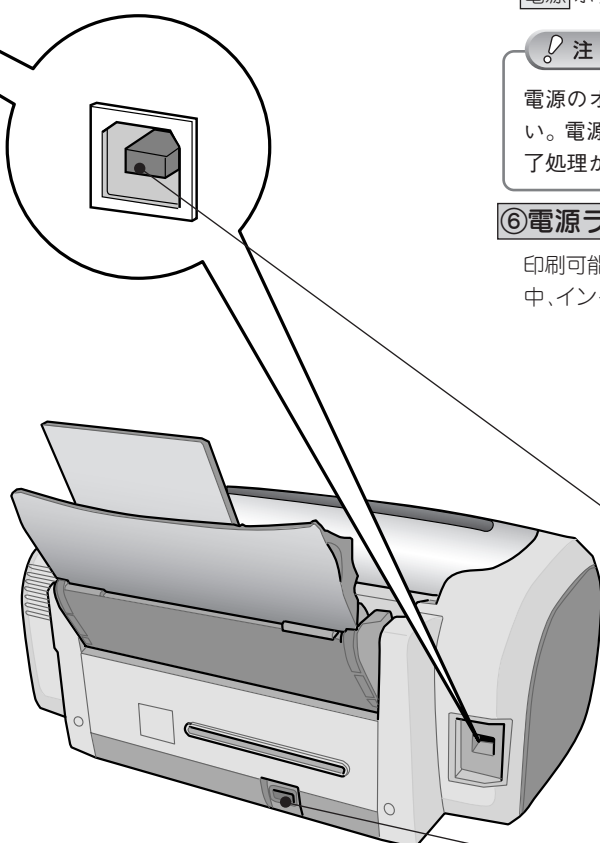
- **電源オフ**

電源 ボタンを押すと､電源ランプが点滅した後､電源がオフになります。

注 意

電源のオン/オフは、必ずプリンタ本体の 電源 ボタンで行ってください。電源がオンの状態で電源プラグを抜くなどすると、プリンタの終了処理が行われず、正常に印刷できなくなる場合があります。

⑥電源ランプ

印刷可能状態のときに点灯し､データの受信処理中､プリンタの終了処理中､インクカートリッジ交換作業中､およびクリーニング中に点滅します。

USB インターフェイスコネクタ

USB ケーブルでコンピュータと接続するためのコネクタです。

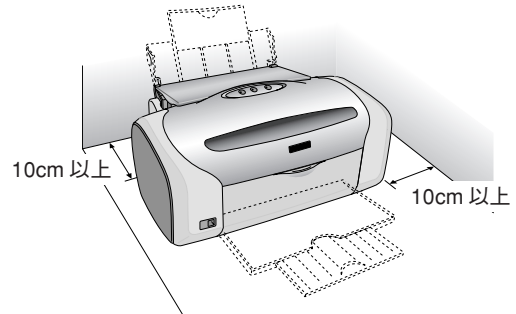
AC インレット

電源コードのプラグを接続します。

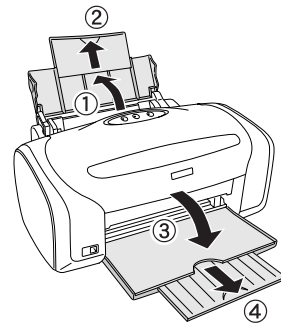
コンピュータを使わずに準備するお客様へ

プリンタの設置と電源の接続

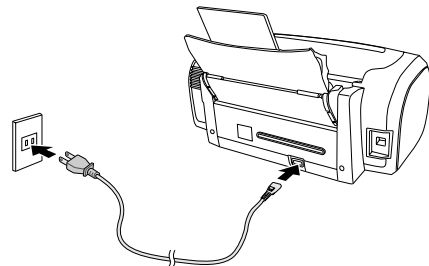
1 水平で安定した場所にプリンタを設置します。

作業しやすいように十分なスペースを確保して設置してください。プリンタ前面には排紙トレイを引き出せるだけのスペースが必要です。
また、壁際に設置する場合は、壁から10cm以上のすき間をあけてください。

ポイント

電源プラグの抜き差しがしやすいよう、コンセントから近い位置に設置してください。

2 用紙サポートと排紙トレイを引き出します。

3 電源を接続します。電源コードをACインレットに差し込み、電源プラグをコンセントに接続します。

⚠警告

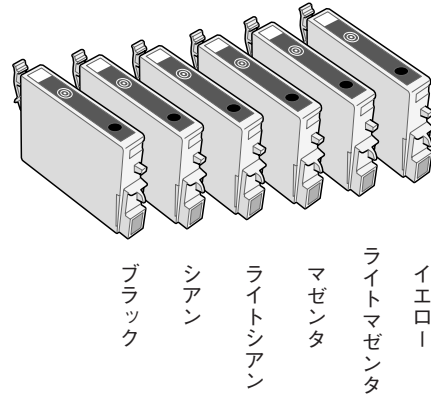
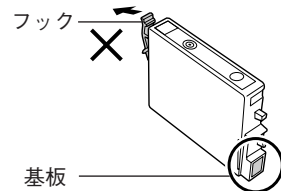
AC100Vの電源以外は使用しないでください。

注 意

電源プラグを、コンピュータ背面のサービスコンセントや、スイッチ付きテーブルタップなどに接続しないでください。プリントヘッドの動作中に電源が切れると、プリントヘッドが乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。

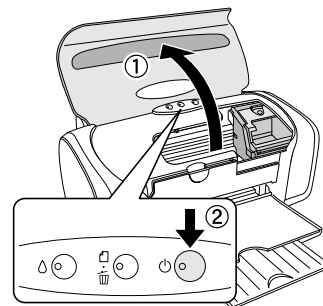
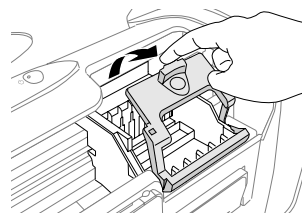
インクカートリッジの取り付け

インクカートリッジを袋から取り出します。

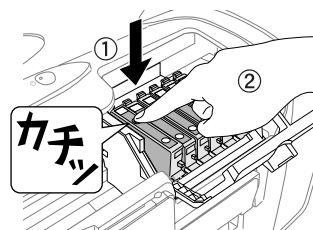
注 意

- フックを折らないように注意して、袋から取り出してください。
- インクカートリッジに貼られているラベルやフィルムは、絶対にはがさないでください。インクが漏れたり、正常にセットできなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジに付いている緑色の基板部分には触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。

① プリンタカバーを開け、
② プリンタの電源をオンにします。

⚠注意

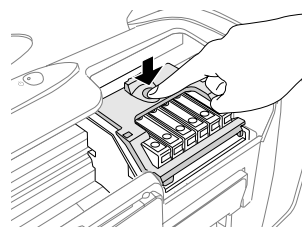
プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置で止まるまでは、プリンタ内部に手を入れないでください。

カートリッジカバーを開けます。

① 6 色すべてのインクカートリッジを
まっすぐに挿入し、
② ◎の部分を押してセットします。

注意

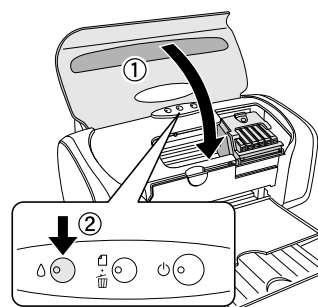
- インクカートリッジは、まっすぐに挿入してください。
- インクカートリッジは、ラベルの色を合わせないと正しくセットできません。インクカートリッジがうまく入らない場合は、ラベルの色をご確認ください。
- 6 色すべてのインクカートリッジをセットしてください。ひとつでもセットされていないと印刷できません。

プリンタ本体のラベルとインクカートリッジのラベルの色を合わせてセットします。

カートリッジカバーを戻し、図の部分を押して固定します。

注意

カートリッジカバーが閉まらないときは、もう一度インクカートリッジをセットし直してください。

①プリンタカバーを閉じ、
② インク ボタンを押します。

こんなときは

- **インク ボタンを押してもプリントヘッドが動かない場合は**
  インクカートリッジをセットし直してみてください。
- **プリントヘッドが右側へ移動して、再びインクランプが点灯した場合は**
  インク ボタンを押すと、プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置へ戻りますので、もう一度インクカートリッジをセットし直してみてください。

7 インクの充てんの終了を確認します。

インクの充てんには、約70秒かかります。
電源ランプの点滅が点灯に変わったら、インクの充てんは終了です。

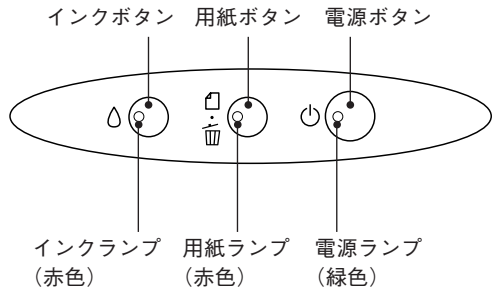
注意

インクの充てん中（電源ランプの点滅中）は絶対に電源をオフにしないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

コンピュータとの接続、ソフトウェアのインストール、ユーザー登録については、以下のページをご覧ください。

☞ 本書24ページ「コンピュータとの接続」
☞ 本書24ページ「プリンタソフトウェアのインストール」－「Windowsでのインストール」
☞ 本書25ページ「プリンタソフトウェアのインストール」－「Mac OS 8.6～9. xでのインストール」
☞ 本書26ページ「プリンタソフトウェアのインストール」－「Mac OS X v10.2でのインストール」
☞ 本書27ページ「ユーザー登録について」

プリンタのランプ表示について

プリンタの状態を、プリンタ本体のランプ表示で確認することができます。

電源ランプ（緑色）

ランプの状態	内容	対処方法
点灯	印刷データ待ちの状態です。	正常な状態です。
点滅	印刷中 / インクカートリッジの交換中 / インクの確認中のいずれかの状態です。	正常な状態です。
高速点滅	プリンタが終了処理をしている状態です。数秒間待つと消灯します。	正常な状態です。

インクランプ（赤色）

ランプの状態	内容	対処方法
点灯	いずれかのインクがなくなったか、インクカートリッジがセットされていません。※ または、本プリンタでは使用できないインクカートリッジがセットされています。	新しいインクカートリッジに交換してください。 本書14ページ「インクカートリッジの交換」
点滅	いずれかのインクが残り少なくなりました。	新しいインクカートリッジを準備してください。インクカートリッジの型番については、以下をご覧ください。 本書14ページ「インクカートリッジの交換」

※ インクカートリッジを交換した後に点灯した場合は、正しくインクカートリッジが認識されていません。もう一度インクカートリッジをセットし直してみてください。

用紙ランプ（赤色）

ランプの状態	内容	対処方法
点灯	用紙がセットされていません。（印刷実行時のみのエラーです。）	用紙をセットして、用紙ボタンを押してください。
点滅	用紙が詰まりました。	本書20ページ「トラブル対処方法」ー「用紙が詰まった」

ランプの組み合わせによるエラー表示

ランプの状態	内容	対処方法
高速点滅　点滅　点灯	用紙印刷時、CD/DVD ガイドが開いています。	CD/DVD ガイドを閉じてください。

ランプの状態	内容	対処方法
高速点滅　高速点滅　消灯	キャリッジ（インクカートリッジをセットしている部分）が正常に動作していない、またはその他のエラーが発生しました。	一旦電源をオフにして、再度電源をオンにしてください。それでもエラーが解除されない場合は、電源をオフにして、プリンタ内部に異物（輸送用の保護具、用紙など）が入っていないか確認し、電源をオンにしてください。
交互点滅　消灯	プリンタ内部の部品調整が必要です。	一旦電源をオフにして、再度電源をオンにしてください。それでもエラーが解除されない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理相談窓口へご相談ください。

こんなときは

処置した後もエラーが続く場合は

お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、本書巻末をご覧ください。

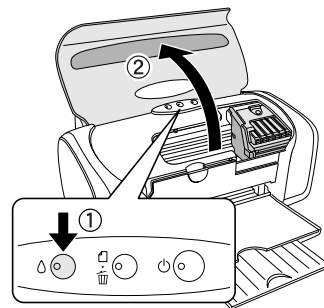
インクカートリッジの交換

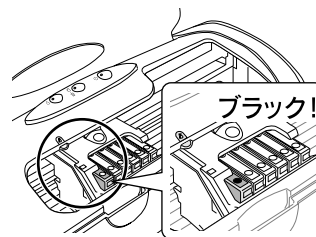
インクがなくなると、インクランプが点灯して印刷できなくなります。（インクランプが点滅しているときは、インク残量が残り少ないときです。）
インクがなくなったときは、以下の手順で、インクカートリッジを交換してください。

本プリンタで使用できるインクカートリッジの当社純正品は以下の通りです。
ブラック：ICBK32　シアン：ICC32　ライトシアン：ICLC32　マゼンタ：ICM32　ライトマゼンタ：ICLM32
イエロー：ICY32

プリンタの電源をオンにします。

① インク ボタンを押し、
② プリンタカバーを開けます。

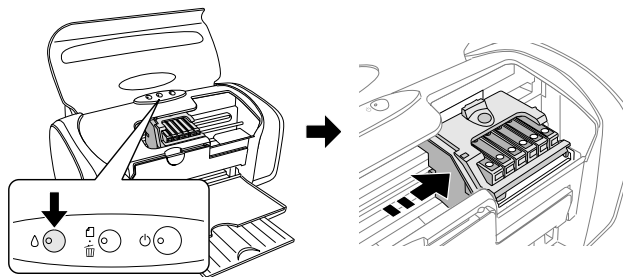
プリントヘッドが移動して、電源ランプが点滅します。

3 交換の必要なインクカートリッジを確認します。

マークの前にあるインクカートリッジが、交換の必要なインクカートリッジです。
このインクカートリッジの色を覚えておいてください。
インクが残っている状態で交換する場合は、手順5にお進みください。

こんなときは

インクカートリッジの交換作業を中止したい場合は
交換するインクカートリッジが手元にないなどの理由で、交換作業を一旦中止にしたい場合には、電源をオフにしてください。

※ 以降の説明はブラックインクカートリッジを交換する場合の例ですが、他の色のインクカートリッジも同様の手順で交換できます。

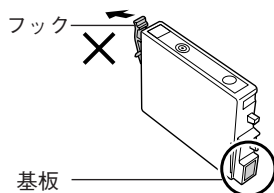
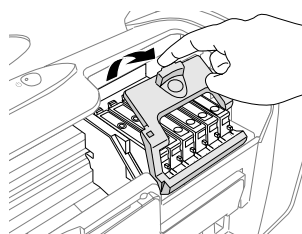
もう一度、インク ボタンを押します。

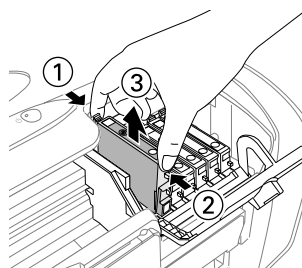
プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置に移動します。

ポイント

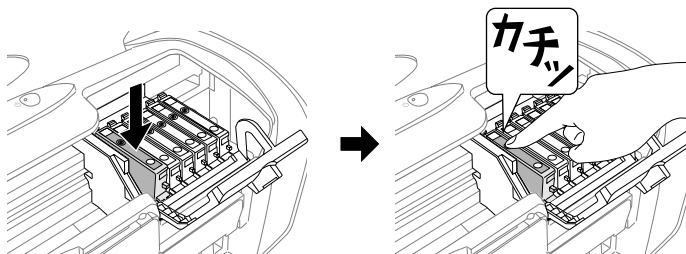
ほかの色のインクもなくなり、同時に交換が必要な場合
プリントヘッドは、交換位置に移動せず再びマークの前で停止します。この色のインクカートリッジも交換が必要ですので、色を覚えて インク ボタンを押してください。

新しいインクカートリッジを袋から取り出します。

注意

- フックを折らないように注意して袋から取り出してください。
- インクカートリッジに貼られているラベルやフィルムは、絶対にはがさないでください。
  インクが漏れたり、正常にセットできなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジに付いている緑色の基板部分には触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。

カートリッジカバーを開けます。

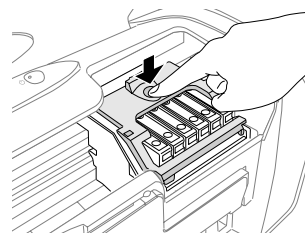
7 交換するインクカートリッジのフックをつまんで、取り出します。

新しいインクカートリッジを図の向きに挿入し、◎部分を押してセットします。

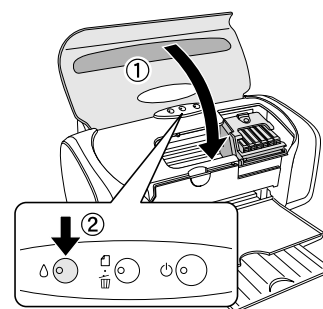
インクカートリッジは、まっすぐに挿入してください。

注意

すべてのインクカートリッジをセットしてください。1つでもセットされていないと印刷できません。

9 カートリッジカバーを戻し、図の部分を押します。

注 意

カートリッジカバーが閉まらないときは、もう一度インクカートリッジをセットし直してください。

10 ① プリンタカバーを閉じ、② インク ボタンを押します。

プリントヘッドが右に移動して、インクの充てんが始まります。

11 インク充てんの終了を確認します。

インクの充てんには、約40秒かかります。
電源ランプの点滅が点灯に変わったら、インクの充てんは終了です。

注 意

- インク充てん中（電源ランプの点滅中）は、絶対に電源をオフにしないでください。充てんが完全に行われず、印刷できなくなるおそれがあります。
- 取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にインクが付着している場合がありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。

ポイント

インクカートリッジの回収にご協力ください

弊社では、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」をエプソン製品取扱い店に設置し、使用済みカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、最寄りの回収ポストまでお持ちいただきますようご協力をお願いいたします。
最寄りの回収ポスト設置店舗は、エプソン販売のホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）でご案内しています。

メンテナンス（お手入れ）

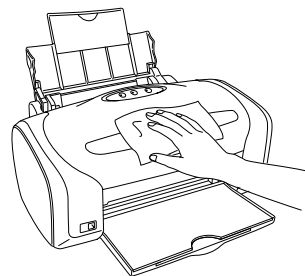
プリンタが汚れているときは

いつでも快適にお使いいただくために、以下の方法でプリンタのお手入れをしてください。

外装面のお手入れ

1 電源をオフにして、電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 柔らかい布を使って、ほこりや汚れを払います。

プリンタ外装面の汚れがひどいときは、中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れをふき取ります。最後に、乾いた柔らかい布で水気をふき取ります。

注 意

- プリンタ内部に水気が入らないように、プリンタカバーを閉めた状態でふいてください。プリンタ内部が濡れると、電気回路がショートするおそれがあります。
- ベンジン・シンナー・アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面や内部が変質・変形するおそれがあります。
- 硬いブラシを使用しないでください。プリンタ表面を傷付けるおそれがあります。

給紙 / 排紙ローラのクリーニング

印刷後の用紙などの表面にローラの汚れが付いたときは、以下の手順に従って、普通紙を給排紙してローラの汚れをふき取ってください。

1 プリンタの電源をオンにし、A4 サイズの普通紙を 1 枚セットして、用紙 ボタンを押します。

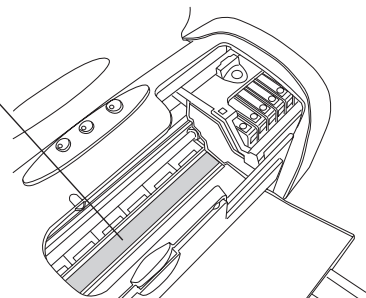
用紙が給紙されます。

2 もう一度、用紙 ボタンを押します。

用紙が排紙されます。
この給紙 / 排紙の操作を 2、3 回繰り返します。

注 意

プリンタ内部について
インクの吸収材には、フチなし全面印刷時にはみ出したインクが付着しています。この部分に付いたインクは、ふき取らずにそのままお使いください。

ホコリが入らないように
ホコリの多い場所には設置しないでください。また、ホコリがプリンタ内部に入らないように、必要時以外はプリンタカバーを閉めてお使いください。

プリントヘッドのノズルチェックとクリーニング

インクはあるのに印刷がかすれたり、変な色で印刷されたりするときは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。ノズルチェック機能を使って、ノズルの目詰まりを確認してください。確認後、ノズルが目詰まりしている場合は、プリントヘッドをクリーニングしてください。

ノズルチェック　　　：ノズルチェックパターンを印刷し、そのパターンを見て、ノズルが目詰まりしていないかを確認します。

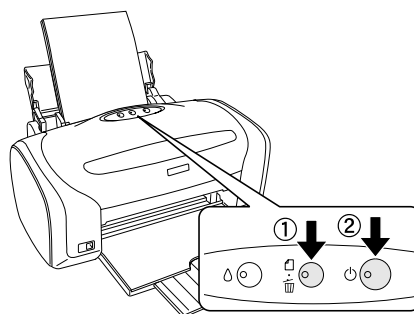
ヘッドクリーニング：ノズルが目詰まりしている場合に、インクの噴出と吸引を行うことによってプリントヘッド（ノズル）を清掃する機能です。インクが消費されます。

■ノズルチェック

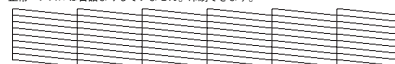
1 A4サイズの普通紙を複数枚プリンタにセットします。

2 一度、プリンタの電源をオフにします。

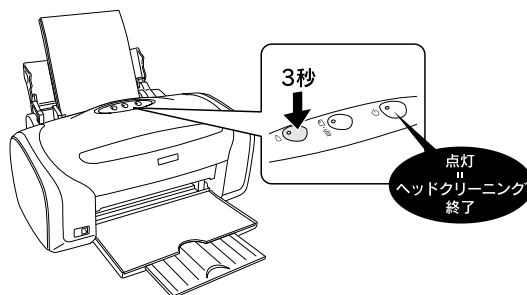
3 ①用紙 ボタンを押したまま、
②電源 ボタンを押します。

用紙 ボタンは、プリントヘッドが動き出すまで押したままにしてください。
電源 ボタンは、押した後すぐに離してください。

印刷されたノズルチェックパターンを確認します。

正常の例のように全てのラインが印刷されていれば目詰まりしていません。
印刷されていないラインがある場合は、目詰まりしていますので、プリントヘッドをクリーニングします。次の手順に進み、ヘッドクリーニングを行ってください。

ノズルチェックパターン

■ヘッドクリーニング

1 プリンタの電源がオンになっていることを確認して、インク ボタンを3秒間押したままにします。

プリントヘッドが動き出したら手を離してください。電源ランプが点滅して、ヘッドクリーニングが行われます。電源ランプの点滅が点灯に変わったら、ヘッドクリーニングは終了です。

2 ヘッドクリーニング後は、再度ノズルチェックを行って、ノズルの目詰まりが解消されたかをご確認ください。

自動メンテナンス機能

■セルフクリーニング機能

セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能で、印刷を開始するときなどに行われます。すべてのインクを微量吐出して、ノズルの乾燥を防ぎます。

注 意

セルフクリーニングが実行されているときに電源をオフにすると、クリーニングが終了してから電源が切れます。電源をオフにした後でもプリンタが動作しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

■キャッピング機能

キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。キャッピングは、次のタイミングで行われます。

- 印刷終了後（印刷データが途絶えて）、数秒経過したとき
- 印刷停止状態になったとき

キャッピング位置はプリンタの右端です。
キャッピングされていないときは、一度電源をオン / オフするとキャッピングされます。

注 意

- キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因になります。プリンタを使用しないときは、プリントヘッドがキャッピングされていることをご確認ください。
- 用紙が詰まったときやエラーが起こったときなど、キャッピングされていないまま電源をオフにした場合は、再度電源オンにしてください。しばらくすると、自動的にキャッピングが行われますので、キャッピングを確認した後で電源をオフにしてください。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。
- プリンタの電源がオンの状態で、電源プラグをコンセントから抜かないでください。キャッピングされない場合があります。

長期間使用しないときは

プリンタを長期間使用しないときは、インクカートリッジを取り付けたまま、水平な状態で保管してください。
なお、プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥し、目詰まりする場合があります。
ノズルの目詰まりを防ぐために、定期的に印刷することをお勧めします。

注 意

- インクカートリッジは、絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- プリンタは傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態で保管してください。

こんなときは

長期間使用していないプリンタをお使いになる場合は

- ノズルチェックパターンを印刷して、ノズルの状態を確認してください。ノズルチェックパターンがきれいに印刷できない場合は、ヘッドクリーニングをしてください。
  ☞本書 18 ページ 「メンテナンス（お手入れ）」－「プリントヘッドのノズルチェックとクリーニング」
- ヘッドクリーニングを数回行わないと、ノズルチェックパターンが正常に印刷されないことがあります。ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に5回以上繰り返しても、ノズルの目詰まりが改善されない場合は、プリンタの電源をオフにして一晩以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングをしてください。時間をおくことによって、目詰まりしているインクが溶解し、正常に印刷できる場合があります。
- ヘッドクリーニングは、連続で行わず、ノズルチェックパターンと交互に行ってください。

トラブル対処方法

用紙が詰まった

紙詰まりが発生した場合は、無理に引っ張らずに、次の手順に従って用紙を取り除いてください。

1 プリンタの電源をオフにします。

2 排紙口から詰まっている用紙をゆっくり引き抜きます。
排紙口から取り除けない場合は、次の手順に進んでください。

3 プリンタカバーを開けてCD/DVDガイドを開き、上部から詰まっている用紙をゆっくり引き抜きます。

こんなときは

詰まった用紙がどうしても取れない場合は
プリンタを分解したりせずに、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。
お問い合わせ先は、本書巻末をご覧ください。

うまく給紙できない

用紙をオートシートフィーダにセットして印刷を実行すると、給紙されない、複数枚重なって給紙される、斜めに給紙される。こんなときは、以下のチェック項目をご確認ください。

✔ **用紙はオートシートフィーダに正しくセットされていますか？**
- 用紙サポートは引き出されていますか？
- 用紙をオートシートフィーダの右側に沿わせていますか？
- エッジガイドを用紙の側面に合わせていますか？
- 用紙をプリンタ内部へ無理に押し込んでいませんか？
- 用紙を縦方向にセットしていますか？（往復ハガキは横方向）
- プリンタにセットしてある用紙の量が多すぎませんか？
- CD/DVD ガイドが開いていませんか？

✔ **本プリンタで使用できない用紙をお使いではありませんか？**
- 用紙にシワや折り目はないですか？
- 厚すぎたり、薄すぎる用紙をお使いではありませんか？
- 用紙が湿気を含んでいませんか？
- 用紙が反っていませんか？
- ルーズリーフ用紙やバインダ用紙などの、穴の空いている用紙ではありませんか？

使用できる用紙種類については、以下の参照先をご覧ください。
本書30ページ「本製品で使用できる用紙」

✔ **プリンタは水平な場所に設置されていますか？また、一般の室温環境下に設置されていますか？**
設置場所が水平でなかったり、設置場所とプリンタの間に何か物が挟まれていたり、プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出ていたりすると、内部機構に無理な力がかかってプリンタが歪み、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。一見すると水平に見える場所でも実際は設置面が歪んでいることもあり、このような場所に設置した場合にも同様の症状が現れることがあります。設置面が水平であること、すべての脚が正しく設置していることをご確認ください。
また、一般の室温環境下（室温：15～25度、湿度：40～60%）以外で使用した場合にも、専用紙や専用ハガキを正常に紙送りできない場合があります。

プリンタが反応しない

プリンタの電源は入っているけれど、印刷を実行しても印刷が始まらない。こんなときは、以下のチェック項目をご確認ください。

✔ プリンタのランプが赤く点灯または点滅していませんか？

ランプが赤く点灯または点滅しているときは、プリンタに何らかのエラーが発生しています。
以下のページを参照して、エラーの内容を確認し、エラーを解除してください。
本書12ページ「プリンタのランプ表示について」

✔ ノズルチェックパターンを印刷して、プリンタが故障していないかを確認しましょう。

コンピュータと接続していない状態でノズルチェックパターンを印刷することにより､プリンタが故障していないかを確認できます。
本書 18ページ 「メンテナンス（お手入れ）」ー「プリントヘッドのノズルチェックとクリーニング」

ノズルチェックパターンが印刷できる	プリンタは故障していません。 印刷できない原因がほかにあります。これ以降の項目をご確認ください。
ノズルチェックパターンが印刷できない	プリンタが故障している可能性があります。 お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、本書巻末をご覧ください。

✔ ケーブルはしっかりと接続されていますか？

ケーブルはコネクタにしっかりと接続されていますか？
また、ケーブルが断線していたり、変に曲がっていませんか？
ケーブルの状態をご確認ください。

動作はするが何も印刷しない

用紙を給紙してプリンタは正常に動作しているようなのに、何も印刷しない。こんなときは、以下のチェック項目をご確認ください。

✔ プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

ノズルチェックでプリントヘッドの状態をご確認ください。
本書 18ページ 「メンテナンス（お手入れ）」ー「プリントヘッドのノズルチェックとクリーニング」

✔ プリンタを長期間使用しないでいませんでしたか？

プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりすることがあります。
この場合は、ヘッドクリーニングとノズルチェックパターンの印刷を繰り返し行ってください。
5回以上繰り返してもノズルチェックパターンの印刷結果がまったく改善されない場合は､プリンタの電源をオフにして一晩以上放置した後､再度印刷してみてください。時間をおくことによって、目詰まりしているインクが溶解し、正常に印刷できる場合があります。
また、それでもきれいに印刷できない場合は、インクカートリッジを交換してください。
なお、ヘッドの目詰まりを防ぐために、定期的に印刷することをお勧めします。
本書 18ページ 「メンテナンス（お手入れ）」ー「プリントヘッドのノズルチェックとクリーニング」
本書14ページ「インクカートリッジの交換」

印刷品質が悪い

印刷結果がぼやけたり､色が薄い､文字や罫線に白いスジが入る。こんなときは､以下のチェック項目をご確認ください。

✔ プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

ノズルチェックでプリントヘッドの状態をご確認ください。
本書 18ページ 「メンテナンス（お手入れ）」ー「プリントヘッドのノズルチェックとクリーニング」

✔ **写真などを普通紙に印刷していませんか？**
カラー画像やグラフィックスなど、文字などに比べ印刷面積の大きい原稿を普通紙に印刷すると、インクがにじむことがあります。カラー画像などを印刷するときや、より良い品質で印刷するためには、専用紙のご使用をお勧めします。

✔ **印刷後の用紙（写真用紙）を重なった状態で放置していませんか？**
印刷後の用紙が重なっていると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。印刷後の用紙は、速やかに１枚ずつ広げて乾燥（※）させてください。そうすれば、跡はなくなります。重なっている状態で放置すると、１枚ずつ広げて乾燥させても跡が消えなくなりますのでご注意ください。
※ １枚ずつ広げて一昼夜（24時間）程度乾燥させるか、15分程度放置した後、普通紙などの吸湿性のある用紙を印刷面に重ねて乾燥させてください。

✔ **インクカートリッジは推奨品（当社純正品）をお使いですか？**
本製品に添付のプリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。
そのため、純正品以外のインクカートリッジをお使いになると、ときに印刷がかすれたり、インク残量を正常に検出できなくなる場合があります。
インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。
なお、必ず本プリンタに合った型番のものをご使用ください。
本書14ページ「インクカートリッジの交換」

✔ **古くなったインクカートリッジを使用していませんか？**
インクカートリッジは、開封後６ヵ月以内に使い切ってください。
古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。
（未開封のインクカートリッジの推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載してあります。）
本書14ページ「インクカートリッジの交換」

印刷面がこすれる

印刷面がこすれて汚れるときは、以下のチェック項目をご確認ください。

✔ **仕様外の厚い用紙を使用していませんか？**
本プリンタで使用できるEPSON純正品以外の用紙の厚さは、単票用紙で0.08～0.11mmまでです。この規定以上の厚紙を使用すると、プリントヘッドが印刷面をこすってしまい、印刷結果が汚れることがあります。仕様に合った用紙をご使用ください。

✔ **プリンタ内部が汚れていませんか？**
印刷後の用紙などの表面にローラの汚れが付いたときは、普通紙を給排紙してローラの汚れをふき取ってください。
本書 17 ページ 「メンテナンス（お手入れ）」－「給紙 / 排紙ローラのクリーニング」

✔ **用紙を横方向にセットしていませんか？**
用紙は、往復ハガキを使用する場合を除いて、すべて縦方向にセットしてください。横方向にセットした場合、プリントヘッドが印刷面をこすってしまうことがあります。

✔ **反りのある用紙や、用紙の端面にバリ（用紙裁断のときに出る「かえり」）のある用紙を使用していませんか？**
反りのある用紙や、用紙の端面にバリのある用紙に印刷すると、プリントヘッドが用紙の端をこすってしまうことがあります。用紙の反りやバリを取ってから、プリンタにセットしてください。

✔ **専用紙に印刷後、すぐに重ねていませんか？**
専用紙は普通紙などと比較してインクの乾きが遅いため、印刷直後に手や別の用紙などが印刷面に触れると、汚れることがあります。
印刷直後は印刷面に触れないように、排紙トレイから１枚ずつ取り去って十分に乾かしてください。

デジタルカメラで撮影した写真が、きれいに印刷できない

デジタルカメラで撮影した写真がきれいに印刷できないときは、次のチェック項目をご確認ください。

✔ 写真データの画像サイズが、印刷サイズに適していますか？

デジタルカメラで撮影した写真データは、細かい点（画素）の集まりで構成されています。この画素数が多いほど、なめらかで高画質な印刷を行うことができます。また、L判の用紙に印刷する場合と、A4サイズの用紙に印刷する場合では、必要な画素数が違います。印刷サイズが大きくなればなるほど、画素数の多い写真データが必要になります。

✔ 専用紙（写真用紙）に印刷していますか？

画像サイズの適切な写真データでも、印刷する用紙が普通紙では、高い解像度で印刷することはできません。写真用紙などの専用紙をご利用ください。その際、プリンタドライバの［用紙種類］の設定は、使用する専用紙に対応した用紙種類を選択してください。

電源が入らない

プリンタの 電源 ボタンを押してもプリンタのランプが1つも点灯しない。こんなときは、次のチェック項目をご確認ください。

✔ 電源プラグがコンセントから抜けていませんか?

差し込みが浅かったり、斜めに差し込まれていないかを確認して、しっかりと差し込んでください。また、壁に固定されたコンセントに電源プラグを差し込んでいるか、再度ご確認ください。

✔ コンセントに電源はきていますか？

ほかの電化製品の電源プラグを差し込んで、動作するかご確認ください。ほかの電化製品が正常に動くときは、プリンタの故障が考えられます。

その他のトラブル

✔ ヘッドクリーニングが動作しない

プリントヘッドのクリーニングを実行してもプリンタがまったく動作しない場合は、プリンタのランプが赤く点灯・点滅していないかをご確認ください。
インク残量が少なくなっているとき、およびインクがなくなっているときは、ヘッドクリーニングができません。新しいインクカートリッジに交換してからヘッドクリーニングを行ってください。
本書 12 ページ「プリンタのランプ表示について」
本書14ページ「インクカートリッジの交換」

✔ 黒印刷しかしていないのに、いつの間にかカラーインクが減っている

黒印刷しかしない場合でも、以下の動作時にカラーインクは消費されます。
また、カラー印刷しかしていない場合でも、同様の理由でブラックインクが消費されます。

- ヘッドクリーニング時
- セルフクリーニング時

セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能です。印刷を開始するときなどに定期的に行われます。（すべてのインクを微量吐出して、ノズルの乾燥を防ぎます。）

ヘッドクリーニング時にブラックとカラー、両方のインクを使用する理由

プリントヘッドのノズルにインクが詰まると、インクが出なくなったりかすれたり、正常に印刷できなくなります。黒のみの印刷をしていても、ある日突然カラー印刷をしたくなった際に、カラーインクが出ないということでは、使い物になりません。
そのため、目詰まり防止策として、どちらか一方のノズルだけをクリーニングするのではなく、ブラック・カラー両方のノズルをクリーニングして、双方のノズルを常に良好な状態にしておく仕組みになっています。

コンピュータとの接続時のトラブル対処方法

CD-ROMの『プリンタ準備ガイド』が表示されない

本製品は、プリンタケーブルの接続やインクカートリッジのセット、ソフトウェアのインストールなどのプリンタの準備を、CD-ROMの音声付きマニュアル『プリンタ準備ガイド』により簡単に行うことができます。万一『プリンタ準備ガイド』が表示されない場合は、お手数ですが以下の手順でプリンタの準備をしてください。
『プリンタ準備ガイド』の表示方法は、『はじめにお読みください！』に記載されています。

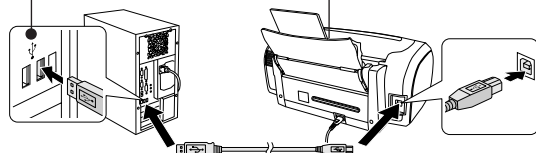
プリンタ本体の準備

本書8ページから11ページをご覧のうえ、プリンタの設置、電源の接続、インクカートリッジの取り付けを行ってください。

コンピュータとの接続

① プリンタの電源をオフ（電源ランプ消灯）にします。
② USBケーブルで、プリンタとコンピュータを接続します。

USB

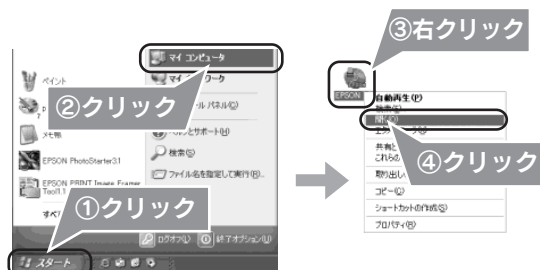
Windows 98/Me/2000/XP、
Macintosh Mac OS 8.6～9.x/Mac OS X v10.2以降

プリンタソフトウェアのインストール

プリンタを使用するために必要なソフトウェアと電子マニュアルをインストールします。

Windowsでのインストール

1 プリンタの電源がオフになっている（電源ランプが消灯している）ことを確認します。

2 Windowsを起動して、『プリンタソフトウェアCD-ROM』をコンピュータにセットします。

3 ①②Windowsの［マイコンピュータ］を開き※、
③［CD-ROM］アイコンを右ボタンでクリックし、
④［開く］をクリックします。

※Windows 98/Me/2000の場合は、デスクトップ上の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

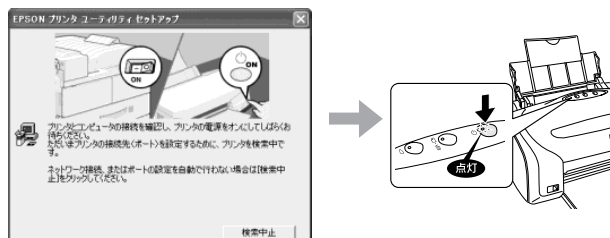
4 ［EPSETUP］アイコンをダブルクリックします。

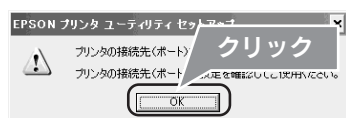
5 ウィルスチェックプログラムに関するメッセージが表示されますので、内容を確認し、続ける ボタンをクリックします。

6 使用許諾の内容を確認し、同意する ボタンをクリックします。

7 インストールされるソフトウェアが、一覧表示されます。確認して、インストール ボタンをクリックします。

下の画面が表示されたら、プリンタの電源をオンにします。

プリンタの接続先の設定が行われます。引き続き、ソフトウェアが自動的にインストールされます。手順 *9* の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

Windows 98/Meで次の画面が表示された場合

OK ボタンをクリックして、次へお進みください。

インストール終了後印刷先のポートを［EPUSBx：(EPSON PM-G700)］に設定し直してください。

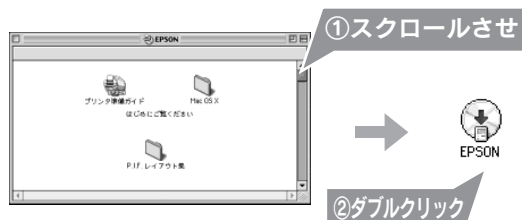
「インストール作業が終了しました」のメッセージ画面が表示されたら、終了 ボタンをクリックします。

再起動 ボタンが表示された場合には、起動中のアプリケーションソフトを全て終了させてから 再起動 ボタンをクリックしてください。

10 **表示されている画面を閉じ、CD-ROMをコンピュータから取り出します。**

Mac OS 8.6〜9.xでのインストール

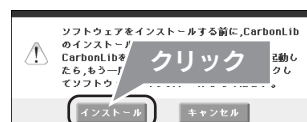
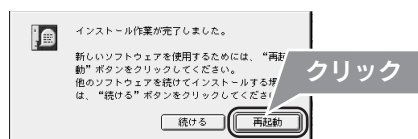
1 **Macintoshを起動して、『プリンタソフトウェアCD-ROM』をコンピュータにセットします。**

① ［EPSON］フォルダのスクロールバーを動かし、
② 下の方にある［EPSON］アイコンをダブルクリックします。

3 **ウィルスチェックプログラムに関するメッセージが表示されますので、内容を確認し、続ける ボタンをクリックします。**

4 **使用許諾の内容を確認し、同意する ボタンをクリックします。**

こんなときは

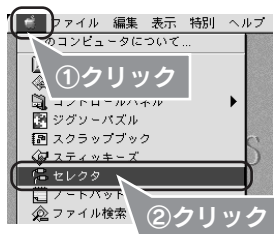
インストールの途中で下の画面が表示された場合は

インストール ボタンをクリックし、画面の指示に従い「CarbonLib」というソフトウェアのインストールを行います。

「CarbonLib」のインストールが完了すると、以下のような画面が表示されますので 再起動 ボタンをクリックします。コンピュータが再起動したら、再度手順 *1* から、プリンタソフトウェアのインストールをやり直してください。

5 **インストールされるソフトウェアが、一覧表示されます。確認して インストール ボタンをクリックします。**

6 **「インストール作業が終了しました」のメッセージ画面が表示されたら、終了 ボタン、または 再起動 ボタンをクリックします。**

他のアプリケーションソフトが起動している場合には、終了 ボタンをクリックしてこの画面を閉じ、アプリケーションソフトを全て終了させてから再起動してください。

7 **USBケーブルが接続されているか確認し、プリンタの電源をオンにします。（電源ランプの点灯を確認してください。）**

8 Macintoshが再起動したら、
① アップルメニューをクリックして、
② ［セレクタ］をクリックします。

9 ① プリンタドライバ［PM-G700］をクリックし、
② ［USBポート］が選択されていることを確認し、
③ をクリックして画面を閉じます。

10 デスクトップ上のCD-ROMのアイコンを［ゴミ箱］に捨て（ドラッグ＆ドロップ）、CD-ROMを取り出します。

Mac OS X v10.2でのインストール

1 Macintoshを起動して、『プリンタソフトウェアCD-ROM』をコンピュータにセットします。

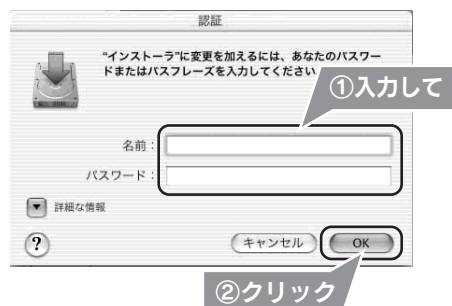
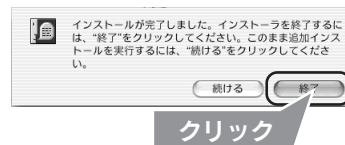
2 ① ［Mac OS X］フォルダをダブルクリックして開き、
② その中の［EPSON］アイコンをダブルクリックします。

3 ウィルスチェックプログラムに関するメッセージが表示されますので、内容を確認し、続ける ボタンをクリックします。

4 使用許諾の内容を確認し、同意する ボタンをクリックします。

5 インストールされるソフトウェアが、一覧表示されます。確認して インストール ボタンをクリックします。

6 インストールされるソフトウェア1つ1つに対し、パスワードを求める画面や使用許諾の画面などが表示されますので、画面の指示に従ってインスールを進めてください。

パスワードを求める画面では①お客様が設定されている「名前」と「パスワード」を入力し② OK ボタンをクリックしてください。

この画面が表示されたら 終了 ボタンをクリックします。

7 インストールの完了画面が表示されたら、再起動 ボタンをクリックします。

8 Macintoshが再起動したら、プリンタの電源をオンにします。

9 ハードディスクのアイコンをダブルクリックします。

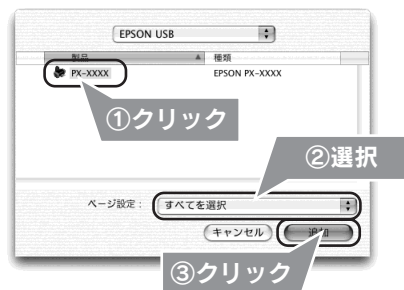
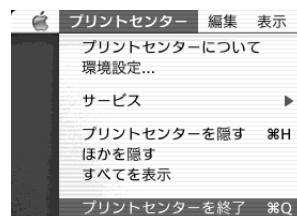
10 [アプリケーション] フォルダをダブルクリックして、[ユーティリティ] フォルダをダブルクリックします。

※[ユーティリティ]フォルダが表示されない場合は、ウィンドウ右のスライドバーを使って画面をスクロールしてください。

11 [プリントセンター] をダブルクリックします。

12 次のどちらかの画面が表示されますので、どちらの場合も 追加 ボタンをクリックします。

13 次の画面が表示されます。画面の上にあるリストをクリックし、EPSON USBを選択します。

14 ①プリンタ名をクリックし、
②ページ設定で[すべて選択]を選び、
③ 追加 ボタンをクリックします。

15 プリントセンターを閉じます。

16 CD-ROMを取り出します。

ユーザー登録について

インストール終了後、デスクトップ上に下のショートカットアイコンが作成されます。
これをダブルクリックすると、「MyEPSON」登録画面が表示されますので、画面の指示に従って「MyEPSON」登録（ユーザー登録）していただくことをお勧めします。

プリンタを修理に出すときは

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず「トラブル対処方法」をよくお読みください。

■保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

■保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソン修理センター（本書巻末の一覧表をご覧ください。）
- 受付日時：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
- 受付時間：9：00～17：30

■保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
持込/送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料＋技術料＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください。
ドア to ドアサービス	指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金＋修理代）

注意

修理品を送付するときは、プリンタを衝撃などから守るために、しっかり梱包してください。
本書 29 ページ 「プリンタを輸送するときは」

プリンタを輸送するときは

プリンタを輸送するときは、プリンタを衝撃などから守るために、しっかり梱包してください。

1 電源をオフにします。

2 プリンタカバーを開け、プリントヘッドが右端のキャッピング位置にあることを確認します。

本書 19 ページ「メンテナンス（お手入れ）」－「自動メンテナンス機能」－「キャッピング機能」

注意

インクカートリッジは、絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。

3 市販のテープなどで、インクカートリッジセット部が動かないように本体カバーにしっかりと固定します。

4 用紙サポートと排紙トレイを収納し、電源プラグをコンセントから抜き、プリンタケーブルを取り外します。

5 梱包材を取り付け、プリンタを水平にして梱包箱に入れます。

上記の手順でしっかりと梱包したら、輸送の準備は整いました。

注意

保護材取り付け時、輸送時には、プリンタを傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。

こんなときは

輸送後に印刷不良が発生した場合は

プリントヘッドをクリーニングしてください。

本書 18 ページ 「メンテナンス（お手入れ）」－「プリントヘッドのノズルチェックとクリーニング」

環境基本仕様

プリンタの環境基本仕様は、以下の通りです。

項目	内容
消費電力	連続印刷時　：平均約 12W（ISO/IEC 10561 レターパターン印字） 低電力モード時　：2.5W 電源オフ時　：0.1W（電源プラグは接続状態） ※ 消費電力を 0W にするためには、電源プラグをコンセントから、抜いてください。 （電源プラグは、電源スイッチで電源をオフにしてから抜いてください。）
省資源機能	両面印刷機能、割り付け印刷機能、拡大 / 縮小印刷機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。
回収リサイクル体制	インクカートリッジのリサイクル 弊社では、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」をエプソン製品取扱い店に設置し、使用済みカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、最寄りの回収ポストまでお持ちいただきますようご協力をお願いいたします。 最寄りの回収ポスト設置店舗は、エプソン販売のホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）でご案内しています。
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスをご用意しております。詳細につきましては以下をご覧ください。 本書巻末「各種お問い合わせ先」
補修用性能部品の最低保有期間	製品の製造停止後６年
消耗品の最低保有期間	製品の製造停止後６年
適合規格	• 国際エネルギースタープログラム • 情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B

本製品で使用できる用紙

本製品で使用できる用紙種類は以下の通りです。

用紙名	サイズ	セット可能枚数
写真用紙＜光沢＞	L 判	20
※旧名称：PM 写真用紙＜光沢＞	2L 判	20
	A4	20
	六切	20
	カードサイズ	30
写真用紙＜絹目調＞	L 判	20
※旧名称：PM 写真用紙＜半光沢＞	2L 判	20
PM/MC 写真用紙＜半光沢＞	A4	20
光沢紙	A4	20
フォトマット紙 ※旧名称：PM マット紙	A4	20
両面マット紙＜再生紙＞	名刺サイズ	30
スーパーファイン紙	A4	エッジガイドの▼マークまで
両面上質普通紙＜再生紙＞	A4	エッジガイドの▼マークまで
ミニフォトシール	ハガキサイズ（16 分割）	1
アイロンプリントペーパー	A4	1
フォト光沢名刺カード	A4（8 分割）	1
スーパーファイン専用ラベルシート	A4	1
写真用紙＜絹目調＞はがき ※旧名称：写真用紙＜半光沢＞はがき	ハガキ	20
フォト・クォリティ・カード2	ハガキ	20
スーパーファイン専用ハガキ	ハガキ	50

※用紙の商品名が変更されていますが、品質は同等です。

■市販用紙

一般に販売されているコピー用紙、事務用普通紙で坪量64～90g/m^2、厚さ0.08～0.11mmの範囲のものをご使用ください。プリンタへのセット可能枚数はエッジガイドの▼マークまでです。

■官製ハガキ

一般の官製ハガキをご利用ください。インクジェット対応の官製ハガキもお使いいただけます。
プリンタへのセット可能枚数は 50 枚です。

注意

往復ハガキの場合は、中央に折り目のないものをお使いください。
市販の再生紙ハガキなどは、正常に給紙できないおそれがあります。

■封筒

本プリンタで印刷できる封筒のサイズは、以下の通りです。
プリンタへのセット可能枚数は 15 枚です。

- 長形３号（120 × 235mm）
- 長形４号（90 × 205mm）
- 洋形１号（120 × 176mm）
- 洋形２号（114 × 162mm）
- 洋形３号（98 × 148mm）
- 洋形４号（105 × 235mm）

■ CD/DVD

レーベル面がインクジェット方式カラープリンタでの印刷に対応している 12cm/8cmサイズのCD/DVD/メディア（CD-R/RW、DVD-R/RW など）をご使用ください。

Microsoft®Windows® 98 operating system 日本語版、Microsoft®Windows® Millennium Edition operating system 日本語版、Microsoft®Windows® 2000 operating system 日本語版、Microsoft®Windows® XP Home Edition operating system 日本語版、Microsoft®Windows® XP Professional operating system日本語版の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XPと表記しています。
また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XPを総称する場合は「Windows」、複数のWindowsを併記する場合は、「Windows 98/Me」のようにWindowsの表記を省略することがあります。

本書では、アップルコンピュータ社のiMacを接続の説明のために例示しています。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の喪失等）は、補償致しかねます。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用目的および使用方法の如何によっては、法律に違反し、罰せられます。（関連法律）

刑法	第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法	第1条、第2条　など

著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について　- 注意 -

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することを固くお断りします。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）運用した結果の影響については、（3）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
（5）本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修正・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
（6）エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

各種お問い合わせ先

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネットFAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●修理品送付・持ち込み依頼先
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先
ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けするサービスです。＊梱包は業者が行います。
ドアtoドアサービス受付電話 **0570ー090ー090**（全国ナビダイヤル） 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）※松本修理センターは365日受付可。
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●カラリオインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。
0570ー004116（全国ナビダイヤル） 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00（祝日を除く）
＊ナビダイヤルとは、NTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルはご利用いただけません。
＊新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、下記の最寄り窓口へお問い合わせください。
札幌（011）222ー7931 仙台（022）214ー7624 東京（042）585ー8555 名古屋（052）202ー9531 大阪（06）6399ー1115
広島（082）240ー0430 福岡（092）452ー3942 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00（祝日を除く）

●FAXインフォメーション　EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。
札幌（011）221ー7911 東京（042）585ー8500 名古屋（052）202ー9532 大阪（06）6397ー4359 福岡（092）452ー3305

●スクール（エプソン・デジタル・カレッジ）講習会のご案内
東京 TEL（03）5321-9738 大阪 TEL（06）6205-2734
【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊スケジュールなどはホームページでご確認ください。 http://www.i-love-epson.co.jp/school/

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.i-love-epson.co.jp/square/
エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンアートスタジオあずみ野　〒399-8201 長野県南安曇郡豊科町南穂高1115 スワンガーデン安曇野内
【開館時間】 10:00～18:00（水曜日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。
インターネットでアクセス！ http://myepson.i-love-epson.co.jp/ ▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス
各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。
●消耗品のご購入
お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120ー251528 でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2003. 5（A）

PM-G700 プリンタ補足説明書

EPSON

本製品は PRINT Image Matching II に対応しています。
PRINT Image Matching II 対応プリンタでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
本書はリサイクルに配慮して作成しています。
不要になった場合は資源物としてお取り扱いください。

Printed in Japan 03.XX-XX

改訂履歴

Revision	改訂ページ	改訂内容	備考
4044371_01	**全て**	**新規制定**	